

販売中の川口市史等一覧

川口市史等			
	書名	内容	金額
1	考古編	旧石器時代から江戸時代の主な遺跡・遺物を収録、また、昭和59年(1984)までの発掘調査によって確認された遺跡等を収録した。本文頁839頁。A5判。	3,500円
2	古代・中世資料編	古代史料・中世史料・板碑及びその他金石資料を収録したが、古代や中世史料はほとんどなく、国や県、大学等に所蔵されている史料で、川口に関係する足立郡や武蔵国など広域の範囲で収録した。板碑等は756点を収録し、昭和50年(1975)までの調査を基に編集収録した。本文頁700頁。A5判。	1,350円
3	近世資料編Ⅰ	本編は天正18年(1590)から明治初年(1868)までの市域の幕府支配関係や年貢、村の状況、災害や文化などの史料を収録した。本文頁1018頁。A5判。	3,200円
4	近世資料編Ⅱ	本編は天正18年(1590)から明治初年(1868)までの市域の農業、鑄物、諸産業、金融、交通運輸に関する史料を収録した。本文頁1,018頁。A5判。	3,300円
5	近世資料編Ⅲ	本編では江戸時代初期の長徳寺の住職である龍派禪珠が残した文集「寒松稿」と日記「寒松日曆」、また、江戸時代末期に川口に滞在した安井息軒の日記「北潜日抄」を収録した。本文頁1,057頁。A5判。	2,550円
6	近代資料編Ⅰ	本編では、明治初年(1868)から昭和20年(1945)までの政治、行政、教育、文化、交通、運輸に関する史料を収録した。本文頁1,106頁。A5判。	2,900円
7	近代資料編Ⅱ	本編では、明治初年(1868)から昭和20年(1945)までの産業、経済、労働運動、社会運動に関する史料を収録した。本文頁1,012頁。A5判。	2,300円
8	現代資料編	本編は、昭和20年(1945)から昭和45年までの川口市域に関する政治・行政、産業・経済、社会・労働、教育・文化に関する史料を収録した。本文頁989頁。A5判。	3,200円
9	民俗編	昭和49年(1974)から昭和52年(1977)の4年間にかけて市内全域を調査して、生産、生業、年中行事、住、衣食、社会生活、人の一生に関わる習俗や民俗行事などを収録した。本文頁961頁。A5判。	2,000円
10	通史編上下巻セット	原始時代から昭和45年(1970)までを範囲として、上巻を原始から近世まで、下巻を近代から現代とに分けて、各時代の川口市域の歴史を解説する。上下2冊組、上巻本文頁853頁、下巻本文頁726頁。A5判。	4,500円
11	近現代史年表稿	明治元年(1868)から昭和48年(1973)までの川口市域の事件や災害、各種の産業や団体、町村合併、行政施策等の変遷。また、戦争や国政に関わる当時の状況などを編年に編集した年表。総頁238頁。B5判。	500円
12	川口市史調査概報第5集	①考古「川口市域で水稲耕作の始まった頃のこと」・「安行吉岡・東本郷台遺跡の調査」②古代中世「中世における夏麦をめぐって-鶴岡社領を通して」④近世「調査諸家文書の紹介」・「傑伝寺と高国英峻」・「真継文書に現れた川口鑄物師」⑤近代「調査諸家文書の紹介」・「川口・鳩ヶ谷市域における武州鉄道の展開」・「日露戦争から第一次大戦までの農業政策-石神村」⑥現代「第二次大戦後の農地改革の実態-旧戸塚村大字戸塚字上台の場合」・「荒川の水害と改修事業」・「戦後昭和20年代初期の市民生活の一コマ」。総頁166頁。A5判。	400円
13	川口市史調査概報第6集	①考古「戸塚上台遺跡発掘調査について」②古代・中世「古代・中世資料編の補遺及び参考史料」③近世「調査諸家文書紹介」・「寒松日曆」・「藤波家文書について」④近代「調査諸家文書紹介」・「川口町電灯料値下げ運動の事例」⑤現代「調査諸家文書紹介」・「昭和20年代における川口鑄物のあゆみ」・「旧戸塚村合併」総頁154頁。B5判。	650円
14	川口市史調査概報第7集	①「大正・昭和期における川口市域の交通」②「川口市教育会について」③「善光寺仁王像胎内木札について」④「川口市史史料の補修について」⑤「新光寺の大般若経若波羅蜜多経」⑥「市史刊行後の事業と今後の計画」⑦「写真で見る川口女子高等学校の歴史」。総頁111頁。B5判。	650円
15	史料叢書二集第1巻	明治元年(1868)から明治5年(1872)の間で、榛松村・原村の村役人が記録した「御用留」を解読し、新政府による政治姿勢を示す「五榜の掲示」、戊辰戦争の東北方面への人馬の提供、政府の行政機関として民政裁判所の設置、川口地域を所管する小菅県役所が設置されて、各村々に通達や指示が出される。また、村役人の名主・組頭は県令や参事が任命し、江戸時代と同様に村を自治させる。また、廃藩置県、戸籍法の制定、土地の所有者への地券発行、地租改正に向けての動向。当時の事件などの記録を収録した資料図書。総頁442頁、A4判。	1,500円
16	史料叢書二集第2巻	明治6年(1873)から明治8年(1875)の3年間で、石神村・榛松村・横曽根村・芝村の村役人が政府や埼玉県からの通達や法令等を記録した「御用留」14冊を解読した。明治政府による税制度改正のための地租改正のための「石高制度」の廃止、仇討禁止の通達、神社・神官に関する調査や国・県・町村の対応、学校教育制度の実施、政府の内務省設置、陸軍の徴兵令並びに海軍兵学校に関する通達、警察制度の改正、寺院・僧侶に関する通達、村の戸長制度の改正、太陽暦による生年月日・24時間制度の導入、養蚕や茶他殖産興業の振興、鉄道や電信事業に関する通達、天然痘の種痘通達、荒川の新規架橋、全国的な事件として佐賀の乱などが記録された資料図書。総頁444頁、A4判。	1,500円
17	史料叢書二集第3巻	明治9年(1876)から明治12年(1879)の4年間で、道合村・石神村・横曽根村の村役人が政府や埼玉県からの通達や法令等を記録した「御用留」15冊を解読した。明治政府並びに埼玉県などからの各種法令や諸税に関する通達、地租・戸籍等の調査、徴兵関係、学校教育の改正や巡査の採用、警察署の設置、諸産業営業許可、農産物の育成奨励、見沼代用水の維持管理の関係、そして、郡区町村編制による郡・町村の設置、県・郡議会開設や町村会関係などの地方自治制度改正、また、全国的な事件として西南戦争に関する事で、当時の地域の状況を知ることができる資料図書。総頁413頁、A4判。	1,500円

鳩ヶ谷市史			
	書名	内容	金額
1	民俗編	昭和54年(1979)から昭和62年(1987)にわたって調査した生産生業、衣服、食物、住まいと暮らし、社会生活、年中行事、人の一生、信仰、交通交易に分類し収録した。本文頁537頁。A5判。	3,000円
2	資料編1	本編は、江戸時代の平柳領辻村名主の肥留間家に伝わる古文書「御用留」(幕府からの通達を記録したもの)天明3年(1783)から寛政4年(1792)にわたる文書を収録。本文頁202頁。A5判	1,500円
3	資料編2	本編は、明治時代で中居村の役員を務めた矢作家に残された村政に関する明治8年(1875)から9年(1876)の2年間の文書を収録した。本文頁266頁。A5判。	1,500円
4	資料編3	本編は、江戸時代の平柳領辻村名主の肥留間家に伝わる古文書「御用留」(幕府からの通達を記録したもの)寛政6年(1794)から文化10年(1813)にわたる文書を収録。本文頁290頁。A5判。	1,500円
5	資料編4	本編は、江戸時代の平柳領辻村名主の肥留間家に伝わる古文書「御用留」(幕府からの通達を記録したもの)文政4年(1821)から文政6年(1823)にわたる文書を収録。本文頁242頁。A5判。	1,500円
6	資料編5	本編は、江戸時代の平柳領辻村名主の肥留間家に伝わる古文書「御用留」(幕府からの通達を記録したもの)文政9年(1826)から文政13年(1830)にわたる文書を収録。本文頁230頁。A5判。	1,500円
8	資料編6	本編は、江戸時代の平柳領辻村名主の肥留間家に伝わる古文書「御用留」(幕府からの通達を記録したもの)天保3年(1832)から天保9年(1838)にわたる文書を収録。本文頁294頁。A5判。	2,000円
8	資料編7	本編は、江戸時代の前田村名主の加藤家に伝わる古文書で、寛延2年(1749)から天保2年(1831)にわたる村政に関する文書を収録。本文頁330頁。A5判。	2,700円
9	資料編8	本編は、江戸時代の平柳領辻村名主の肥留間家に伝わる古文書「御用留」(幕府からの通達を記録したもの)天保11年(1840)から天保15年(1844)にわたる文書を収録。本文頁250頁。A5判。	2,000円
10	資料編9	本編は、明治期の鳩ヶ谷地域の行政史料並びに鳩ヶ谷町報(昭和4年から14年)を収録した。本文頁401頁。A5判。	2,800円
11	資料編10	本編は、近世・近代に区分して、近世編として元禄元年(1688)から慶応4年(1868)までの江戸時代の様々な記録史料、近代編として明治元年(1688)から昭和28年(1953)までの特色ある記録史料を収録した。本文頁550頁。A5判。	2,900円